

障がい者と地域支援者が一堂に会する「マイ防災プラン作成研修」を実施しました！

日時：2018年8月21日（火）10:00～12:00

場所：寝屋川市総合センター

参加者：校区福祉委員、民政委員、障害者団体協議会、災害VC登録スタッフ(70名)

ファシリテーター：建築学科生8名＋大学院生1名＋教員2名（計11名）

今回の見どころ

「マイ防災プラン作成研修」とは、主に障がい者団体を対象にした防災研修です。障がいをもつ方々には各々に見合った災害対策が必要ではないかとの発想から、寝屋川市社会福祉協議会と摂南大学で開催しました。地域支援者とは、校区福祉委員や民政委員など寝屋川市社会福祉協議会と日常的に連携している方々です。2018年6月、8月および10月に3回の研修を行い、障がい者と地域支援者が共にマイ防災プランを作成することで、お互いの立場や情報を共有することを目的としました。そして各地域・団体の協力体制を強化し、災害に備える地域を目指します。今回は8月研修について説明します。

プログラムの実施風景



まず6月研修で行った内容（備蓄品の確認等）をおさらいし、8月研修（対策を立てる）の目的を確認します。



Step1では、非常食など備蓄品の具体的な準備について考えました。



自分のおすすめ対策を披露します。ファシリテータが前で例を示しました。



Step2では、タンスや食器棚など、自宅内にある危険物への対策を考えました。



Step3では、避難所に対して自分たちが何を要望するかを考えました。



タンスが倒れないようにしっかりと固定するなど、自分で考えた対策についてグループ内で話し合いました。

プログラムの実施結果

今回、私は初めてファシリテータとして研修に参加しました。Step2では住み慣れた自宅内の危険物として、タンスや食器棚などが挙げられましたが、テレビや棚上の荷物などの回答が最も多いことが分かりました。また、私の担当班は、自宅内にある危険物だけでなく他の参加者の自宅内の危険物への対策も考えている人がいました。このように日頃から参加者自身が生活している空間内で、危険なものや必要なものを再確認することで、各々の日常生活を見直す時間となりました。私の自宅内にもこれらのものがあり、危険だと改めて思いました。よって、私自身の日常生活も見直す必要があると思います。この研修を通して、参加者自らが作成した「マイ防災プラン」を今後の災害時に役立てるだけでなく、生活の改善にも繋げて頂ければと思います。私自身初めてのファシリテータでしたが、参加者からの質問にうまく答える事ができず、知識不足だと思いました。今後、事前準備の段階から参加者の立場に立って考えておくように心がけたいと思います。

今回の「マイ防災プラン作成研修」に参加していただいた多くの皆さんに心から感謝申し上げます。